
玩具の兵隊さん

猿読み

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

玩具の兵隊さん

【Nコード】

N4443B

【作者名】

猿読み

【あらすじ】

現実という玩具箱の中、玩具の兵隊は静かに戦っていた。

僕はぜんまい仕掛けの玩具の兵隊。

右へ左へゆらゆら歩く

いつかは止まってしまうけど、それでも意味なく歩き続ける

現実という名の玩具箱の中で

仲間達はもう動かない。

手が無いもの、足が無いもの、みんな必死にもがいている。

みんな止まりたくなくて…死にたくなくて…

ぜんまいネジを探してる。

ぜんまいネジを探してる。

ぜんまいネジを探してる。

そのために仲間を平気で壊してしまう。

仲間を平気で殺してしまう。

ぜんまいネジを独り占めするために

まだ見付けもしないクセに……………

僕は恐くて、恐くて、恐くて……………ただ逃げる。

右へ左へゆらゆらと…

ただ止まるコトを待っていた。

止まるコトは怖い…怖いけど、壊されることはもっと怖い。

ただ静かに止まる事を待とう、静かに止まる事を

しばらく歩くと可愛いフランス人形が立ち止まっていた。

僕は近寄って話かけた。

「どうしたの？」

フランス人形は独り言のようにうつむき言った。

「私……あと一歩で止まってしまう……少しの間だけ私と話をしましょ……最後の話相手になってくれない？」

「最後だなんて、何言ってるんだよ！最後の一歩だからって、あきらめちゃダメだよ！」

「何言ってるの？私はこれで幸せなのよ。やっとこの世界から逃げられる。」

私にとってこれ以上無い幸せよ。」

このフランス人形も僕と同じ考えの持ち主だった。

僕はしばらく話し合ってるうちに、スッカリ打ち解けてしまった。

そして僕は、いつのまにか僕達の間にできている、ぜんまいネジを

見つけてしまった。

彼女はまだ気付いていない、きっと気付いたら僕を壊すに違いない。

やられる前にやる……

僕は自分で気付かない間に、ぜんまいネジを独り占めしたくなっていた。

そして僕は彼女を壊した。

そしてぜんまいネジを手にいれた。

彼女はそんな僕を見て壊れぎわに言った。

「信じてたのに……」

僕はかまわず、ぜんまいネジを背中にさして回そうとした。

背中に届かない

一人では、ぜんまいネジを回せない。

彼女はそれを知っていたのか……

僕はぜんまいネジを手にいれた。
無意味なぜんまいネジを……

(後書き)

この作品は、愛について書いた作品です。

《ぜんまいネジ》というのは、愛の事を表しています。

誰でも愛情は自分一人にそそいで欲しいもの、みんな嫉妬や裏切りで傷ついたり、傷つけたり。

中には、それがイヤで自分を閉ざしてしまうものいます。

主人公の兵隊（少年）も愛する事を恐れていた。

しかしフランス人形（恋に傷つき自殺しようとしている少女）に出会い二人は恋におちた。

兵隊はフランス人形の愛を失うのが恐くなった。

兵隊は揺るぎない愛を手にいれるため、フランス人形が自分だけを愛してくれている間に彼女を殺した。

そして兵隊は揺るぎない愛を手にした。

しかしその愛は無意味なものだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4443b/>

玩具の兵隊さん

2010年10月30日05時43分発行